

進路だより

# 常に今に全力を尽くせ

発行：尚志館高等学校 進路指導部 令和2年10月号

## 実りの秋

2学期がスタートして1ヶ月半が過ぎ、あっという間に10月を迎え、中間考査が終わりました。満足のいく結果だった人はより高みを、そうではなかった人は反省して次で挽回できるようにしましょう。出題範囲が分かっているテストほどありがたいことはありません。就職にしても、進学にしても、「試験」に範囲はありません。毎年3年生の進路指導をしていると、「何を聞かれるか(出るか)分からないから不安」という言葉をよく聞きます。答えるには「自分」に中身が無いといけません。知識・経験そのどちらも欠けてはいけません。日々こつこつ取り組む、この「当たり前」の積み重ねの上に進路実現はあります。「まだ試験まで時間あるし、まだ大丈夫」と思う人は「時間の貴重さ」に早く気づきましょう。各学年において、この2学期は重要な意味を持つ学期となります。高校に入学してこれまでに行われてきた進路行事や、試験等を踏まえ、自分の将来や適性をしっかりと見据えたいという選択ができるよう取り組んで欲しいと思います。次へ踏み出す大事な一歩となりますので、ぜひ、担任の先生や、保護者の方ともよく話をしながら進めてください。目先だけのことで決めてしまうと、せっかく就職・進学しても「こんなはずじゃなかった」ということにもなりかねません。分からないことは担任の先生とよく相談してください。また、進路室には、進路情報が満載ですので、1・2年生は、この機会にぜひ進路室にも足を運んでみてください。

2年生は、生徒会行事をはじめとする各種行事を3年生から引き継ぎ、中心となって取り組んでいくこととなります。これまで、培ってきた力を思う存分発揮する 때가来ました。活躍を期待しています。

## 就職試験出陣式(10/9)

10月9日に就職試験出陣式を実施しました。例年、9月16日に就職試験開始となるのですが、新型コロナウイルス感染拡大のため1ヶ月遅れての開始となりました。準備する期間が長かった分、十分対策をして試験に臨めるとしています。皆さんが希望する会社から内定をもらえるように祈っています。出陣式の出陣宣言、激励のことばを紹介したいと思います。

## 誓いの言葉 (建設工業科3年 黒木 翔)

入学当初、私たちはそれぞれの志を持ち、尚志館高校に入学しました。それぞれの学科において、時には厳しく、時には優しく指導していただき、知識、技術を身につけてきました。

今年は新型コロナウイルスの感染により、社会の情勢や、私たちの学校生活も大きな影響を受けました。従来の9月の試験開始が10月に変更になり、今まで当たり前であった生活や出来事が大きく一変してしまいました。そういう不安を抱えながらの試験勉強や面接練習は、なかなか上手くいかないこともあり、苦勞の連続でした。こうして本番を迎えるにあたって、自分がどれくらいの実力を出せるか分かりません。ですが、これまで頑張ってきた自分を信じて、今までお世話になった先生方、苦しい時に支えてくれた家族の思いを胸に、不屈不撓の精神で就職内定を勝ち取ってきます。

## 激励の言葉 (医療福祉科2年 三浦 友花)

就職試験に挑む3年生のみなさん、試験まで残りわずかとなりました。みなさんは、尚志館高校に入学し、約3年間の高校生活を通して、仲間と共に様々なことを経験され、また、先生方から多くのことを学んでこられたと思います。学業はもちろんのこと、部活動や各学校行事にも励み、先頭に立って尚志館高校を引っ張ってきてくださいました。

就職試験は、社会へ出るための第一歩です。初めてのことに緊張や不安が多くあると思いますが、先輩方はそれをも超える努力、準備をされてきたと思います。試験までの残された時間を大切に、体調を整え、本番に挑んでください。

最後になりますが、校訓である不屈不撓を胸に、先生方や家族、友人への感謝の気持ちを忘れず、ベストを尽くしてください。私たち後輩一同、学校から応援しています。

## 公務員試験1次結果速報(10/16現在)

春先から、公務員試験に向けて勉強に取り掛かり、夏休みに勉強漬けという日々を送った。その努力が実り、今年度の公務員試験では、昨年の普通科の一次合格数の4倍となる一次試験合格となった。合格に喜び泣く生徒、力及ばず悔し涙する生徒いたが、常に前を向いて次の試験に取り組んできた。

◎一次試験合格(10月16日現在)

- ・国家公務員一般職…7名(過去最多)
- ・裁判所事務官…1名
- ・鹿児島県職(一般事務)…5名(過去最多)
- ・鹿児島県職(警察事務)…1名

・鹿屋市役所…2名

・都城市役所…1名

・東串良町役場…1名

・大崎町役場…2名

・海上保安学校学生(管制)…1名

・海上保安学校学生(船舶)…2名

・東京消防庁…1名

・鹿児島県警(男性)…2名

・鹿児島県警(女性)…2名(過去最多)

・航空学生…1名

・一般曹候補生(海)…11名

・一般曹候補生(陸)…1名

以上9月に実施された試験の一次試験合格者数です。

## 一次合格数の多さの裏側

これだけ多くの合格者がなぜ出たのだろうか?少し振り返ってみた。例年に比べ、受験者は全体的に増加している。採用試験の日程の分散化、コロナウイルスによる進学や民間希望者が公務員に切り替えなど、倍率はどの試験でも高くなっている。その一方で、対面授業ができない専門学校生。しかも、大事な4月からオンライン授業や休校などで専門学校生の学力の低い人が、ただ倍率を上げているだけで、合格にはつながっていない。また、現役高校生も公務員に切り替えても、どうやって学んでいけばいいのか分からない。つまり、受験者のレベルの低下が一因である。一方、本校では自前で本校職員が、ほぼ毎日対策ができる環境にある。3月の休校前にグループLINEを作り、問題をLINEで配信。3月までに基本的なテキストを3冊終えていた。4月からは、判断処理の問題を定時に配信し、正答順位を争わせていった。ここで、さらにテキスト1冊分を終える。それに、過去問配信を大阪府・東京都・東京特別区それぞれ約10年分。授業でも各職種を約10年分。過去問だけで、約80回分は解いただろう。専門学校生より演習ができたことが大きかったと考えられる。あとは、公務員試験における情報量の多さである。国家一般の台風による延期が決まると、日頃情報のやり取りをしている専門学校とのやりとり。追試験の傾向をつかみ、対策を行った。結果、対策が見事的中し、過去最多の7名の合格につながった。日々の考査の成績に関係なく、公務員試験に真剣に取り組んだ者が1次合格している。尚志館の強さはこの真剣さにある。

お知らせ(10/22現在)

センター試験まで89日

看護師国家試験まで116日

医療福祉科国家試験まで102日